
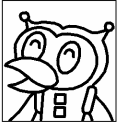


<p>算数 学習相談</p>		<p>学研教育情報資料センター</p> <p>小 / 算数 / 6年 / 図形 / 図形の拡大と縮小 / 理解シート</p>
--------------------	---	--

五角形の2倍の拡大図は、1つの点を使ってどうやってかくの



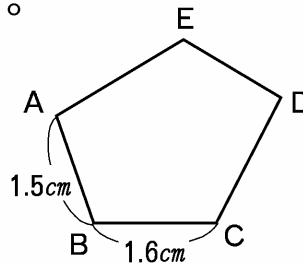
1つの頂点<sup>ちようてん</sup>をもとにして、それぞれの頂点とをつないだ線をのばし、その長さを2倍にした点をきめて、かくんだよ。

1

右の五角形で考えてみましょう。

右の図の点B<sup>ビー</sup>をもとにして、五角形ABCDEの2倍の拡大図をかきましょう。

見取図



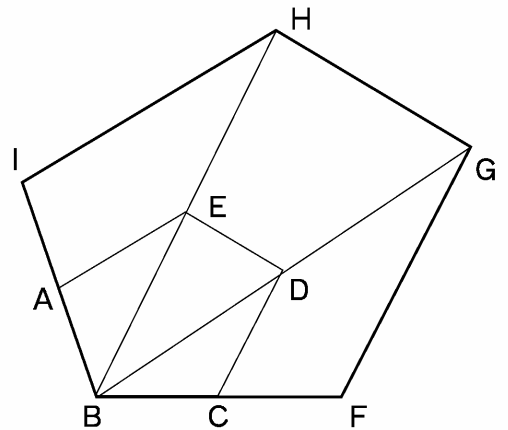
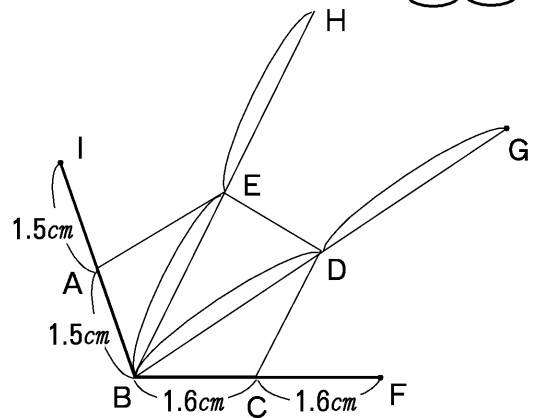
点Bと五角形の頂点をつないだ線をのばして、考えるといいよ。



2

2倍の拡大図をかきましょう。

- ① 点A<sup>たいおう</sup>に対応する、点I<sup>アイ</sup>をきめましょう。
  - ・辺BAをのばして、点Aから辺BAと等しい長さの所に、点Iをきめます。
- ② 点Cに対応する、点Fをきめましょう。
  - ・辺BCをのばして、点Cから辺BCと等しい長さの所に、点F<sup>エフ</sup>をきめます。
- ③ 点Dと点Eに対応する、点G<sup>ジー</sup>と点H<sup>エイチ</sup>をきめましょう。
  - ・点Bと点Dをつないでのばし、点Dから線BDと等しい長さの所に、点Gをきめます。
  - ・同じようにして、点Hをきめます。
- ④ 点Fと点G、点H、点Iをつなぎましょう。
  - ・五角形IBFGHは、五角形ABCDEの2倍の拡大図になります。



〔覚えておこう〕 形がふくぎつになっても、この方法で、拡大図や縮図をかくことができます。